

# No.45

令和5(2023)年5月1日発行

## 主 な 内 容

皆さんの声を議会へ  
(一般質問)……………2～5

予算審査特別委員会  
審査報告……………6～8

主な議決結果……………9

インターネット中継のお知らせ  
傍聴してみませんか……………10

# たきかわ 市議会 だより

「たきかわ市議会だより」をアプリで読めます！

マチイロで検索 (iOS・Android 対応)



## 令和5年度の一般会計予算は218億1千7百万円

医療、教育、子育て施策を中心に、  
幅広い年代の市民需要に対応！！

第1回市議会定例会が3月3日から17日までの15日間の会期で開かれ、前田市長から「予算大綱等」の説明が行われました。また、令和5年度一般会計予算など市長提出議案32件がいずれも可決されたほか、市政について6人の議員による一般質問が行われました。



子ども医療費助成事業費  
1億7,392万円  
出産・子育て応援給付金  
事業費 2,004万円  
住宅新築・改修促進事業  
費 2,884万円  
「書かない窓口」整備等  
自治体DX推進事業費  
9,434万円

| 一般会計・特別会計 |             | 予算額        | 対前年比  |
|-----------|-------------|------------|-------|
| 一般会計      |             | 218億1700万円 | 2.8%  |
| 特別会計      | 国民健康保険特別会計  | 44億1814万円  | -1.7% |
|           | 公営住宅事業特別会計  | 6億1094万円   | 38.5% |
|           | 介護保険特別会計    | 38億7262万円  | -2.6% |
|           | 後期高齢者医療特別会計 | 7億2116万円   | 0.8%  |
| 計         |             | 314億3986万円 | 1.9%  |

| 企業会計  |     | 予算額       | 対前年比  |
|-------|-----|-----------|-------|
| 下水道事業 | 収入計 | 17億9654万円 | -8.9% |
|       | 支出計 | 22億7904万円 | -5.1% |
| 病院事業  | 収入計 | 84億8406万円 | 13.3% |
|       | 支出計 | 88億9734万円 | 12.5% |

※「自治体DX」は10ページの「用語を理解して議会をもっと身近に！」を参照

# 皆さんの声を議会へ



当市議会では、改選年を除いて6月、9月、12月の各定例会において市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針等について質問し、執行機関からの報告・説明などを求める一般質問が行われます。一般質問は、住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

統一地方選挙を控え、現議員としての最後となります今回の3月定例会では、6名の議員による一般質問が行われました。その一部をお知らせいたします。

| 質問者              | 全質問項目                                                                                                 |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 三上 裕久<br>(公明党)   | 駅前整備の考え方 各種証明書のコンビニ交付 書かない窓口<br>0歳から中学生までの医療費完全無償化 分娩に対する支援 滝川ふれ愛の里の運営<br>観光人材育成事業 スポーツ・文化等の振興に対する補助金 |
| 木下八重子<br>(会派みどり) | パートナーシップ制度                                                                                            |
| 寄谷 猛男<br>(日本共産党) | 平和都市宣言に基づくまちづくり 国民保護訓練等 会計年度任用職員の再雇用<br>バス路線の増加対策 3歳未満児の保育料無償化 保育所における給食費無償化<br>開西団地の住環境対策            |
| 荒木 文一<br>(会派清新)  | 児童・生徒の発達障害 教職員の過重労働の改善<br>新型コロナウイルスの5類移行に関する教育現場の対応                                                   |
| 山口 清悦<br>(会派みどり) | 窓口改革 滝川市の観光                                                                                           |
| 柴田 文男<br>(会派清新)  | 新たな時代に向けた滝川市政                                                                                         |

※順不同

## パートナーシップ制度について



木下八重子  
会派みどり

**問** 市長は、性的少数者のカップルについて婚姻相当として認めるパートナーシップ制度の導入に向けた準備を行うと表明した。今後、どのように進めていくのか考えを伺う。

**答弁** パートナーシップ制度は、性的マイノリティーの方が人生のパートナーとして日常生活においてお互いに協力し合うことを約束した関係であることを市長に対し宣誓する制度で、滝川市としても導入の準備を進めているところです。道内では札幌市をはじめ、現在7市が導入しており、転出入の際に宣誓手続きが不要の連携協定が始まっています。滝川市

でどのような行政サービスができるか関係課への聞き取りを近々終える予定です。新年度には、先進地を視察し、内容や運営方法について具体化したいと考えています。また、市民アンケートの実施や当事者を招いての講演会、広報誌での特集など、パートナーシップ制度や性的マイノリティーに対する理解をはかるよう取り組みを進め、誰もが住みやすく、生活しやすいまちを目指し、差別のない社会を目指す一つの手段として、パートナーシップ制度の導入を目指したいと考えています。

## 第1回定例会 一般質問から

### ついて 駅前整備の考え方に



三上 裕久  
公明党

**問** 駅前整備の考え方について、改めて市長の決意を伺う。

**答弁** 駅前周辺はまちの玄関口であり、本来、市内外から多くの方が行き交い、憩い、にぎわう場であって、その姿を取り戻していきたいという強い思いがあります。総合計画や立地適正化計画など、まちづくりの新たな指針となる計画がスタートするところであり、市民の皆さんが誇りに思えるまちにするためにも滝川の玄関口である駅前周辺の良好な環境形成は非常に重要だと考えています。

**問** 0歳から中学生までの医療費完全無償化の提案に至った理由を伺う。

**答弁** 子どもの医療費助成につきましては、令和2年度に対象を非課税世帯の小学生の通院まで拡大した後もさらなる拡大について政策協議を重ね、検討を続けてきました。財政健全化の取り組みにより一定の基盤を整えることができたこと

から、中学生までの医療費の無償化を予算計上したところです。今後も子どもたちの健やかな成長を応援するため、子育て支援の充実に努めていきます。

**問** 滝川市内での分娩を望む声が多くあるが、今後も市内の病院で出産ができないのであれば、通院にかかる出費の助成が必要と考えるが見解を伺う。

**答弁** 現在、市内のタクシー会社に妊婦が事前に登録していただくことにより、陣痛の際にスムーズに移動できる仕組みを整えています。この度、国の出産・子育て応援交付金が創設され、妊娠届出時、出産後に合計10万円を給付することとなりました。この交付金は分娩時や健診時の交通費等に当てていただけるもので、用途を限定せず、現金を給付することとしておりますので、有効にご活用いただきたいと考えています。

### 給食費の無償化について 幼児教育・保育における



寄谷 猛男  
日本共産党

**問** 幼児教育・保育の無償化がなされたが、給食費は保護者負担のままとされている。給食費は小学校では年間約5万円、中学校では年間約6万円かかる。それが保育所では主食費が月1,600円、副食費が月4,500円と年間7万円以上の費用がかかり、保護者の負担は大きい。幼児教育・保育における給食費の無償化について市の考えを伺う。

**答弁** 滝川市では保育所の給食費については、0から2歳児は保育料と合わせて、3から5歳児は主食費及び副食費として保護者の負担としています。在宅で子育てする場合でもお昼ご飯は生じる費用であり、また、義務教育の学校給食なども自己負担としていることから保育所での給食費について原則保護者負担とした国の方針に従っています。給食費の無償化には毎年多額の費用の捻出が必要であり、無償化の実施は難しいと考えています。

**問** 路線バスの利用者数の減少は自宅からバス停までが遠く、不便なことも一因ではないか。バス路線を増やす、タクシー利用の助成等で歩かなくても済む公共交通網をつくることについて市の考えを伺う。

**答弁** バス路線を増やすことについては、ルートを増やすことで市民の皆さんの利便性の向上や利用者の増加の可能性がある一方で、運行経費が増額することから採算性の点などについて運行事業者において慎重に検討しなければならないものと思います。現在、市が最も重視しているのは市民利用が多いバス路線の存続によるネットワークの維持です。引き続き運行事業者とともに効果的な運行便数や運行方法を検討します。また、タクシー利用の助成ですが、現段階では日常的に利用されているタクシー料金に対する支援については考えていません。



## 第1回定例会 一般質問から

### コロナ感染症の5類移行に伴う教育現場対応について



荒木 文一  
会派清新

**問** 5月8日から、5類感染症へ位置づけが変更される予定だが、教育現場におけるマスクの着用について、文部科学省の方針はどのようなになっているのかを伺う。

**答弁** 同省からの通知では、新学期におけるマスク着用の取り扱いについて、着用を求めないことを基本とし、このことに伴う留意事項については、改めて周知する予定であることが示されています。

**問** マスクの着用は基本的には、児童・生徒本人の意思を尊重するということになると思われるが、危惧されるのが着用、非着用が極端に少数派となった場合の誹謗中傷である。事前に教育委員会として何らかの対策が必要と思うが考えを伺う。

**答弁** ご指摘の可能性は否定できませんので、教育委員会としては今後示される文部科学省や北海道教育委員会の通知等

を速やかに各学校へ周知し、混乱なく円滑に新学期を迎えられるように対応していきます。

**問** 昨年12月に文部科学省が発表した調査結果によると「発達障害の可能性があり特別な支援が必要な小中学生」は通常の学級に8.8%（11人に1人）程度在籍していると推察されるとしているが、実態はどうか。また、対象と思われる児童生徒には具体的にどのような支援、指導が必要となるのかを伺う。

**答弁** 本市の小学校では9.6%、中学校では3.1%が何らかの特別な教育的支援が必要と判断しています。発達障害には、学習障害やADHD（注意欠陥多動性障害）など様々な種類があり、特別支援コーディネーターを中心として、児童生徒の観察や発達検査の実施、保護者との教育相談の結果から一人ひとりの状況に合わせた個別の指導計画を作成し、適切な支援につなげています。

### 書かない窓口の新設について



山口 清悦  
会派みどり

**問** 書かない窓口を含めた窓口改革の内容とその効果について伺う。

**答弁** 令和5年度に進める窓口改革の内容としては、書かない窓口の実現、窓口支払い時のキャッシュレス決済の導入、コンビニ交付サービスの開始を予定しているところです。

考えられる効果としては、書かない窓口については、窓口に来られる方の負担が減ること、さらには手続きに必要な時間の短縮があげられます。

また、キャッシュレス決済の導入については、窓口での手数料等の支払いに関し現金に加え、クレジットカードや電子マネー、QRコード決済等、様々な支払い方法に対応することで、利便性の向上に繋がるものと考えています。

コンビニ交付サービスについても、マイナンバーカードをお持ちの方が全国どこでもお近くのコンビニエンスストア等

で証明書の交付が可能となることにより、特に遠方から交付を希望される方や日中お仕事などで来庁される時間のない方には、利便性が向上するものと思っています。また、これにより市役所窓口での混雑緩和、それに伴う待ち時間の短縮等も見込まれるところです。

このようにいずれの取り組みにつきましても、窓口サービスの向上と業務の効率化に繋がるものと考えています。



## 第1回定例会 一般質問から

### 新たな時代に向けた まちづくりについて



柴田 文男  
会派清新

**問** 新たな時代に向けた行政組織の在り方について、現在取り組みが進められているDX(デジタルトランスフォーメーション)の導入によってどのような行政体を作ろうとしているのかを伺う。

**答弁** 情報通信技術の発展により、暮らしや社会の在り方が変化している中、行政においてもデジタル技術を活用した戦略的かつ効果的な取り組みの重要性が高まっています。窓口改革はもとより国の動向や他自治体の事例も参考にしながら、デジタル技術の活用による、より便利で快適な未来に向け、市民本位の改革を着実に進めていきます。

**問** 新しい時代のまちづくりには様々な人の知恵を借りることが重要である。例えば、中・高校生などの意見を吸い上げ、市政に反映させる必要があると思うが考えを伺う。

**答弁** 昨今、生徒自らが課題を見つけ、

学び、考える探求的な学習が高校で実施され、今年度から市としてもこの授業に対し、協力を始めたところです。若い方々の発想力が新たな政策のヒントにもなりますし、生徒たちの考えがまちづくりに生かされることでまちへの愛着が強まり、ひいては将来的にまちづくりの担い手や応援団になっていただけるものと期待しているところです。

**問** 超少子化、超高齢化にどう対応していくのかを伺う。

**答弁** 新年度では、新たに中学生まで対象を拡大した医療費全額助成や子育て世帯の住宅新築支援、さらには給食費の食材の物価高騰分を公費負担します。また、高齢者が抱える問題を解決するために、医療、介護、介護予防、生活支援などを包括的に確保される取り組みをさらに進め、地域で安心して住み続けられるよう生活支援体制の整備を進めます。

＼コロナに負けず、いろいろな取り組みを行いました！／

## 4年間の市議会活動を振り返る



### 令和2年 議員報酬10%減額

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で経済的に苦境に立たされている地域住民を応援するため、同年7月から令和3年3月までの間、自主的に議員報酬を10%減額しました。減額した合計486万9,000円は、ひとり親世帯を中心とした子育て支援をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策に活用されました。

### 令和4年 滝川市議会議員会・滝川商工会議所議員会合同研修会を開催

8月4日、3年振りとなる標記研修会を開催しました。当日は、陸上自衛隊滝川駐屯地や滝川スポーツ協会からの参加者も含め、総勢55名の方にご参加いただき、美術自然史館で開催された特別展「石油ヲ造レ-東洋一の人造石油滝川工場」を学芸員からの説明を受けながら視察しました。



### 令和4年 ウクライナに支援金を寄付

第1回市議会定例会において「ロシア連邦によるウクライナ侵略を厳しく非難し、平和的な解決を強く求める決議」を全会一致で可決するとともに人道支援の一環として、同年3月30日、滝川市議会議員会は、ウクライナへの支援金10万円を日本赤十字社北海道支部滝川地区に寄付しました。



### その他の主な活動

- ・議会だよりリニューアル
- ・議会ホームページリニューアル
- ・第20回紙袋ランタンフェスティバルLIVE配信企画 想いを繋ぐランタン《ランタン・ハートパス》に参加
- ・滝川市議員会研修会の開催



## 第1回 定例会

# 予算審査特別委員会審査報告

## 一般会計など全予算を“可決”

本定例会では、第1および第2予算審査特別委員会を設置し、3月13日から15日まで各委員会を開催し、令和5年度予算の一般会計1件ならびに特別会計4件、企業会計2件について審査を行いました。

### 国学院大学北海道短期大学部 連携事業補助金

**問** 国学院大学北海道短期大学部連携事業補助金の内容について伺う。

**答** 国学院大学北海道短期大学部が実施する地域住民の文化教育活動に寄与する取り組みや、学生の地域活動等地域づくりに貢献する取り組み、学生の地元就職に向けた取り組みに対する補助金である。

### 企業版ふるさと納税

**問** 企業版ふるさと納税を今後どのようにPRしていくのか。

**答** 滝川市の施策に賛同いただける企業を選定し、PRを展開していくとともに、それ以外に市公式ホームページへの掲載やパンフレットの作成、当市と関係のある企業等に対するセールス活動、東京滝川会等へのPR活動を展開していく。

### 老人クラブ

**問** 老人クラブ運営費補助金の申請等事務作業を軽減するため、市職員が老人クラブに出向いてサポートすることはできないか。

**答** 全クラブの担当者にお集まりいただき、事務手続き上の課題を聞き取る等して、市と老人クラブ連合会の役割分担を整理したい。その上で市職員が事務処理のお手伝いをするとも検討していきたい。

### 除排雪

**問** 交差点角の除雪の仕方をどのように指導しているのか。

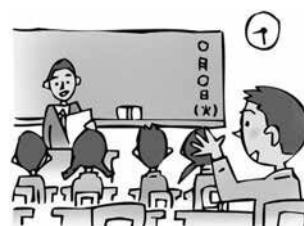
**答** 除雪業者には交差点に極力雪を積まないよう指導しているが、民間等が行う除雪で雪を置く場合があり、状況を把握するのが難しい。交差点排雪は年2回実施し、見通しが悪い箇所の解消に努めている。



### 教職員の研修

**問** 教職員の研修について、教育センターで行われているものとは別に、市独自の研修を行っていく考えはあるのか。

**答** 市独自の取り組みとして、市内の小・中学校の教職員を対象にした道徳に関する研修会に、全国的にも著名な講師を招き、子どもたちへの模範授業をととした授業研究会の実施、道徳の授業についての講演をしていただく予定である。





## コロナ後の商工業金融対策

**問** コロナの影響で企業等がお金を借りたと思うが、コロナ後についてはどうなと考えているのか。

**答** コロナ禍における制度融資は、コロナ関連の制度の方が有利であるとの理由から、繰り上げ返済等も含め、貸付金額は減少傾向にあった。今後は、その他の融資の据置期間が到来するということもあり、市が行う制度融資が資金調達に係る施策として準備しているという側面から引き続き予算計上している。

## 丸加高原伝習館

**問** 丸加高原伝習館などの運営管理に要する経費について、今後も継続的に必要となる経費は何か。また、今後の対応について伺う。

**答** 伝習館の中にある水道設備を監視するための計装設備にかかる費用は、今後予定している専用水道の改修工事が終わるまで必要となる。その他、残留塩素濃度を維持するための放水にかかる水道料、草刈や除雪に使用する燃料が必要となる。改修工事が完了した後は伝習館とグリーンヒル丸加、オートキャンプ場を廃止するまでの間、費用は発生する。また、改修工事に必要な資材等の調達にも現在の社会情勢が大きく影響していることもあり、改修工事完了には、数年かかる見込みとなっている。

## 市立病院の医療機器の整備

**問** 医療機器の整備で1億6,000万円の予算が計上されているが内訳について伺う。

**答** 例年1億5,000万円程度の範囲で整備をしている。令和5年度の内訳は、透析装置、麻酔装置、検査機器等の医療機器のほか、PHSを含む電話交換機の更新である。

## 看護師の充足率

**問** 当初の准看護師も含めた看護師の人数は217人とのことだが、看護基準である患者7対看護師1を基礎とする充足率はどのようになっているのか。

**答** 今年度の充足率は、看護基準の7対1を100%だとすると、109%弱となっている。



## 修学資金貸付制度

**問** 修学資金貸付制度の内容について伺う。この制度は看護師だけでなく、市で働く保健師や助産師なども対象になるのか。

**答** 看護学校等に在学し、滝川市立病院の看護師を目指す方に1年間に最大60万円の修学資金を貸付するもので、例えば3年間借りていた場合市立病院で5年間勤めると全額返済免除になる。この制度は、市立病院の看護師確保対策として市立病院に入職する方を対象と限定しているため、市の保健師や助産師として入職する方は対象外である。

## 開西団地

**問** 開西団地の第1期工事のスケジュールについて伺う。

**答** 今後の流れについては、入札は4月に予定している。工事は令和5年度と6年度の2か年計画であり、第2回定例会で議会の議決を受けた上で本契約を結び、6月頃の着工を予定している。完成期限は令和6年7月31日と考えている。

# 予算審査特別委員会 における各会派討論

## ◎会派清新

歳入では、市税が伸び悩む中、首都圏や関西圏などでの積極的なPR、魅力的な商品開発によりふるさと納税を推進し、一層の歳入確保に努められたい。歳出については、0歳から中学生までの医療費を完全無償化したことを評価するとともに、今後は対象を高校生まで拡大することを望む。市公式ホームページの更新について、欲しい情報へのアクセスが容易にできるようカテゴリーの整理や全体のスリム化を図るとともに、将来のIT技術革新に耐えられるような技術の導入、セキュリティ強化に努められたい。

病院事業会計について、新年度は既存診療の充実と患者本位の病院運営にさらなる努力をお願いする。コロナの感染状況等を勘案しながら患者家族の面会再開について前向きに検討するよう望む。

## ◎新政会

歳入では、国や道の動向を的確に捉え、交付税・補助金の確保に向け引き続き努力し、自主財源確保のため、ふるさと納税及び企業版ふるさと納税の広報戦略等を拡充させ、寄付額の増加に尽力されたい。

民生委員・児童委員のなり手不足解消に向け、市担当者が各種団体等の会合等に出向き、制度説明等を行うなど人材確保に努められたい。本市と赤平市の境界付近を流れるポンクラ川に

ついて、防災上、大改修が必要であることから、赤平市と連携し、本河川を北海道が管理する河川に昇格するように要望を継続して行うことを望む。下水道設備の長寿命化も一部は限界を超えているので、設備更新を想定した資金の内部留保に努められたい。

## ◎会派みどり

歳入では、ふるさと納税の増額や企業版ふるさと納税も盛り込まれており、首都圏等でさらなるPR活動の強化に努められるとともに、市税の収納率向上を図りさらなる財源確保を求める。歳出では、新たな滝川市総合計画の策定により、今後の滝川市のまちづくりが進められる中、新文化センター建設に向け規模・場所が決定される年になると思われる。できる限り市民ニーズに合致した施設になることを望む。

介護保険特別会計では、アフターコロナにマッチした事業を実施し、市民に分かりやすい説明と確実な給付に留意されたい。国民健康保険特別会計では、国民健康保険の収納率向上に努め、特定検診を確実に実施することで、市民の健康増進を図られたい。また、健康診査など予防事業を確実にを行うため、対象者への広報活動を充実されたい。

## ◎公明党

コロナ禍も終息の兆しが見え、理事者・職員一同がアフターコ

ロナの時代に対応し、今後の推移を注視しながらの予算編成をされたことに敬意を表する。

全国的に人口減少・少子高齢化が予想されているが、中空知の中核都市である滝川市の政策により改善できると考える。企業誘致・少子化対策・高齢者福祉などに積極的な先行投資をするよう取り組まれたい。

新年度は、新滝川市総合計画に沿った様々な計画が立案され、コロナ後の再生に向け、重要な1年になることを肝に銘じており、これまで以上に議会が活発な議論の場となるよう決意を新たにしている。

市長のリーダーシップの下に、議員・職員が一致団結して、滝川市のため英知を集結し、取り組むことを望む。

## ◎日本共産党

病院事業会計では、経営改善は大きく進んだが、今後コロナ関連の補助金がなくなることで、これまでのようにはいかない。市民の健康を守る公的病院としての役割を果たすとともに、今後も経営改善に取り組んでいただきたい。介護保険特別会計は、単身や高齢者夫婦世帯、認知症の高齢者が増加し、日常生活上の多様な支援が求められるため、様々な要求に対応する生活支援、介護予防サービスのさらなる充実を求める。

国民健康保険税は、加入者ひとりにつき年間23,100円の均等割があり、子どもの多い世帯ほど重い負担となり、国は就学前児童の均等割減額に取り組んだが十分ではない。市は中学生までの医療費完全無償化に合わせ、中学生までの均等割免除に取り組んでいただきたい。



## 令和5年第1回定例会議決結果

| 議案番号    | 件 名                                                                                                                   | 議決結果 |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 議案第1～7号 | 令和5年度滝川市各会計予算                                                                                                         | 原案可決 |
| 議案第8号   | 令和4年度滝川市一般会計補正予算（第12号）<br>ふるさと納税の寄附金の見込額の確定に伴うふるさと基金への積立額の変更、電気料金の値上げに伴う街路灯電気料補助金の増額、介護給付費扶助及び訓練等給付費扶助の増額等を行うための補正です。 | 原案可決 |
| 議案第9号   | 令和4年度滝川市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）                                                                                           | 原案可決 |
| 議案第10号  | 令和4年度滝川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）                                                                                          | 原案可決 |
| 議案第11号  | 滝川市個人情報の保護に関する法律施行条例                                                                                                  | 原案可決 |
| 議案第12号  | 滝川市避難行動要支援者名簿情報及び個別避難計画情報の提供等に関する条例                                                                                   | 原案可決 |
| 議案第13号  | 滝川市職員の降給に関する条例                                                                                                        | 原案可決 |
| 議案第14号  | 滝川市職員の高齢者部分休業に関する条例                                                                                                   | 原案可決 |
| 議案第15号  | 個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例                                                                                    | 原案可決 |
| 議案第16号  | 中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律に基づく支援給付等に係る関係条例の整備に関する条例                                          | 原案可決 |
| 議案第17号  | 地方公務員法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例                                                                                          | 原案可決 |
| 議案第18号  | 民法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例                                                                                     | 原案可決 |
| 議案第19号  | 滝川市手数料条例の一部を改正する条例                                                                                                    | 原案可決 |
| 議案第20号  | 滝川市民福祉条例の一部を改正する条例<br>中学校までの子どもに対する医療費の無償化を行うための改正です。                                                                 | 原案可決 |
| 議案第21号  | 滝川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例及び滝川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例                                                       | 原案可決 |
| 議案第22号  | 滝川市国民健康保険条例の一部を改正する条例                                                                                                 | 原案可決 |
| 議案第23号  | 滝川市老人デイサービスセンター条例等を廃止する等の条例                                                                                           | 原案可決 |
| 議案第24号  | 公の施設の指定管理者の指定について（航空科学センター）<br>令和5年4月1日から3年間、公益社団法人滝川スカイスポーツ振興協会を指定管理者として指定しました。                                      | 原案可決 |
| 議案第25号  | 公の施設の指定管理者の指定について（スポーツセンター等）<br>令和5年4月1日から3年間、一般財団法人滝川市スポーツ協会を指定管理者として指定しました。                                         | 原案可決 |
| 議案第26号  | 公の施設の指定管理者の指定について（石狩川河川敷パークゴルフ場）<br>令和5年4月1日から3年間、株式会社滝川振興公社を指定管理者として指定しました。                                          | 原案可決 |
| 議案第27号  | 公の施設の指定管理者の指定について（総合交流ターミナルたきかわ）<br>令和5年4月1日から3年間、滝川地方卸売市場株式会社を指定管理者として指定しました。                                        | 原案可決 |
| 議案第28号  | 公平委員会委員の選任について<br>伊藤克之さんが再任されました。                                                                                     | 原案同意 |
| 議案第29号  | 固定資産評価審査委員会委員の選任について<br>齋藤恵美子さんが再任されました。                                                                              | 原案同意 |
| 議案第30号  | 滝川市議会個人情報保護条例                                                                                                         | 原案可決 |
| 議案第31号  | 予算審査特別委員会の設置について                                                                                                      | 原案可決 |
| 議案第32号  | 令和5年度滝川市一般会計補正予算（第1号）<br>新型コロナウイルスワクチン接種を実施するための補正および新型コロナウイルスワクチン接種の勧奨施策として高齢者、障がい者および妊婦に対する接種場所への移動費用を支援するための補正です。  | 原案可決 |
| 議案第33号  | 滝川市税条例の一部を改正する条例<br>新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合等における国民健康保険税の減免の対象となる年度および納期限等を見直すための条例の改正です。                      | 原案可決 |
| 議案第34号  | 滝川市介護保険条例の一部を改正する条例<br>新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合等における介護保険料の減免の対象となる年度および納期減等を見直すための条例の改正です。                     | 原案可決 |
| 意見書案第1号 | 新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取り組みの強化を求める要望意見書                                                                             | 原案可決 |

## 令和5年第1回臨時会議決結果

| 議案番号  | 件 名                                                                                              | 議決結果       |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 選任第1号 | 厚生常任副委員長の選任について<br>佐々木議員の辞職に伴い、厚生常任委員会の副委員長を選任したものです。                                            | 選任<br>安樂良幸 |
| 選任第2号 | 議会運営委員の選任について<br>佐々木議員の辞職に伴い、議会運営委員会の補欠委員を選任したものです。                                              | 選任<br>本間保昭 |
| 選挙第1号 | 中空知広域水道企業団議会議員の選挙について<br>水口議員の辞職に伴い、中空知広域水道企業団議会の補欠議員を選任したものです。                                  | 当選<br>東元勝己 |
| 選挙第2号 | 空知教育センター組合議会議員の選挙について<br>佐々木議員の辞職に伴い、空知教育センター組合議会の補欠議員を選任したものです。                                 | 当選<br>本間保昭 |
| 議案第1号 | 令和4年度滝川市一般会計補正予算（第11号）<br>ふるさと納税寄付金額の増額見込みに伴う返礼品等の費用増額、電気料金および燃料単価の値上げなどによる関係施設の光熱水費増加のため等の補正です。 | 原案可決       |
| 議案第2号 | 損害賠償額の決定について<br>市有財産からの落雪による破損事故に伴う損害賠償額の決定                                                      | 原案可決       |

なるほど、そうなんだ

## 用語を理解して議会をもっと身近に！

### ■自治体DX

「DX」とは、Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）の略で、自治体がデジタル技術を活用し、住民の利便性や行政サービス向上を目指す取り組みのことです。一例として、マイナンバーカードや各種手続きのオンライン申請などが挙げられます。

### ■書かない窓口

住民票などの証明書の申請や転入、転出といった住民異動の手続きの際に、従来記入をしている申請書などを「書かない」ようにすることで、手続きを簡素化するサービスです。

### ■予算審査特別委員会

毎年度、市長が新年度に実施したい事務・事業に必要な予算額を議会に提出し、議会は広く客観的に住民全体の立場に立った公平なものであるかなどを審査します。

本市議会では、定例会の3月議会で予算審査特別委員会を設置し、委員会で詳細に審査した後、本会議で委員会の審査内容が報告され、予算の可決、否決の議決を行います。

## インターネット中継のお知らせ

滝川市議会では議会改革の一環として、より多くの市民の皆さんに本会議を見ていただけるよう、YouTube（ユーチューブ）により会議の様子をインターネット上で配信します。視聴される場合は、「滝川市議会YouTubeチャンネル」をクリックしてください。

なお、本会議開催中の場合は、滝川市議会YouTubeチャンネル内でライブ中継が配信されます。また、過去の配信映像も同チャンネル内でご覧いただけますのでご利用ください。



たきかわ市議会  
ホームページQR



## 傍聴してみませんか

令和5年第2回滝川市議会定例会  
開催予定日をお知らせします。

| 日   | 月                 | 火                 | 水  | 木        | 金  | 土   |
|-----|-------------------|-------------------|----|----------|----|-----|
| 6/4 | 5                 | 6                 | 7  | 8<br>本会議 | 9  | 10  |
| 11  | 12                | 13                | 14 | 15       | 16 | 17  |
| 18  | 19<br>本会議<br>代表質問 | 20<br>本会議<br>代表質問 | 21 | 22       | 23 | 24  |
| 25  | 26                | 27                | 28 | 29       | 30 | 7/1 |

※矢印は会期を示します。

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048

## 編集後記

新型コロナの感染者数が全国的に減少し、マスクの着用も個人の判断にゆだねられ、国内が少しずつアフターコロナにシフトする中、現在の市議会議員の構成では最後となる令和5年第1回市議会定例会が開会され、令和5年度における滝川市の予算などについて慎重に審議し、可決されました。私たち現編集委員の仕事も市議会だより第45号をもって終了となります。

この4年間、市議会に興味や関心を持っていただき、私たち市議会議員の活動を理解していただくため、趣向を凝らし、様々な記事を掲載させていただきました。次号からは新しい編集委員により、市議会だよりを編集・発刊してまいります。4年間お読みいただいた市民の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

たきかわ市議会だより編集委員会

副委員長 安樂 良幸

発行責任者 滝川市議会議長 関藤 龍也